

■ ほこたの福祉 ■

社会福祉法人 銚田市社会福祉協議会 茨城県銚田市当間228 TEL0291-32-5831

ホームページアドレス <http://www.hokotashakyo.or.jp>



七月二十五日(木)～二十六日(金)にかけて、チャレンジ精神にあふれるたくましいリーダーの育成を目的に市内の小学四年生から六年生を対象とした一泊二日のチャレンジスクールが開催されました。

参加者二十二名は、筑波山頂を目指しハイキングと共に「ゴミ拾い活動を行いました。」「ゴミが少ない。少ないのは捨てる人がいないことだからいいよね」など、出発の時とは違う表情をみせてくれました。

その後、宿泊先の県立中央青年の家に到着。「ボランティアって何？」について意見を出し合い、自分ができるボランティア活動を考えました。ボランティア活動とは、「いろいろな人と手をつなぐこと」「身近で出来るボランティアはたくさんあること」などを理解し合いました。これらの体験を通じ、ボランティア活動に関心をもつてくれたらと思います。

宿泊先では、バーベキュー、キャンプファイヤーを行い、協働することの大切さを体験し、二日目にはエキスポセンター、ジャクサを見学し解散となりました。

この二日間での体験が、夏休みの思い出の「コマ」になりました。



このマークのついている事業は赤い羽根共同募金が活用されています。

福祉体験実施中!!



この事業は、市内小中学校の協力により、児童・生徒に対し、思いやりの心や、生きることの大切さを育むため、次の体験内容で実施しています。

主な体験内容

- ・車いす体験
- ・アイマスク体験
- ・インスタント・シニア体験
(高齢者疑似体験)



これらの体験をとおして、福祉対象者への理解と、体験によって得られた経験から、自ら考え、今後、何をどのようにすべきかを再考するきっかけになればと思います。

平成二十五年度においては、

市内二十二校の協力を得てすすめている状況です。

今後、児童・生徒たちが、将来、自分の気づきを大切に、思いやりと、感謝の心を持った大人になり、誰もが、安心して生きていけるような社会になることを望んでいます。



イベント用品をお貸しします!

無料

銚田市社会福祉協議会(社協)では、行政区、教育機関、地域コミュニティ団体、ボランティア団体等が行う地域コミュニティ活動のお手伝いをするため、備品を貸し出しています。

希望の団体は、使用希望日の2週間前までにお申し込み下さい。

イベント用品一覧

- ポップコーン機(1)
 - 綿菓子機(1)
 - かき氷機(1)
 - 焼き芋機(1)
 - 臼(1)
 - 杵(大・中・小各1)
 - かまど(2)
 - 大がま(1)
 - 中がま(1)
 - 両手鍋(1)
 - コンロ(4)
 - ガス炊飯器(3)
 - 発電機(2)
 - ワイヤレスアンプー式(1)
 - アルミリヤカー(1)
 - テント(大3・小10)
- ※()内の数字は保有数



ポップコーン機



綿菓子機



かき氷機



焼き芋機



ワイヤレスアンプー式



テント

利用条件

- 対象：行政区、教育機関、地域コミュニティ団体、ボランティア団体等
- 使用料：無料
- 貸出期間：借用の日から5日以内 ※年末年始は除く。
- その他：詳細はお問い合わせ下さい。

【申し込み先】 銚田市社協 銚田本所 ☎32-5831 旭支所 ☎37-3571 大洋支所 ☎34-5200



このマークのついている事業は赤い羽根共同募金が活用されています。

ボランティア紹介

ボランティア紙風船

本会は、平成元年に発足し今年で二十五年になります。昨年の第四回銚田市社会福祉大会においては、多年に亘って地域福祉活動に積極的に協力・援助したことが認められ、表彰の栄に浴することができ身に余る光栄に感激しています。

これも偏に諸先輩方の日頃からのご尽力の賜物であると衷心から感謝を申し上げます。

私たちは会員三十名で旭地区を中心に日頃から活動を行っています。具体的には、一人暮らし高齢者サロンの送迎や調理ボランティア活動を行っています。

さらには買い物のお手伝いなども行っています。「花の輪を広げよう」活動では年二回土づくりから会員が丹精を込めた花の苗を一人暮らし高齢者の皆様方にお届けをしています。皆様方からは大変喜んでいただいております。私たちの励みにもなっています。

このほか、市内福祉施設の花壇の手入れや納涼祭などのお手伝いもさせていただいています。

今後も高齢化社会が進み、核家族化の急速な進行が予想されます。それらに相まって近所付

き合いや地域の繋がりが希薄化してくるものと思われまふ。そういう社会状況の中にあつて、ボランティア活動の必要性が層増してくるものと認識しています。

ボランティア活動を通して私たちが逆に生きがいを感じていることを忘れてはなりません。これからも会員一人ひとりが研鑽を積み、近隣ボランティア団体との交流会や各種研修会などを通して会員同士の親交を深め、「笑顔」でボランティア活動を続けて行きたいと思っています。

代表 関 根 源 三



ボランティアって何だろう

自発的な意思に基づき、金銭的な利益などの見返りを求めることなく、地域社会を住みよくする活動や他者を支える活動などの社会的活動などに携わることです。

現在、銚田市ボランティア活動センターには五〇団体（一、七六六人）と個人（一、二八八人）の方が登録されており、人と人・人と社会の架け橋としてそれぞれの特技や資格を活かし活動しています。

ボランティア活動センターでは「ボランティア活動をした人」と「ボランティアを依頼したい人」との両者を支援します。

ボランティア登録をお願いします。

不足しているボランティア

- 看護師ボランティア（有資格者）

例えば・・・
高齢者等を対象に健康相談をしていたいただきます。



- 傾聴ボランティア

例えば・・・
ひとり暮らし高齢者宅へ安否確認の電話、訪問などをしていたいただきます。



- お掃除ボランティア

例えば・・・
公共施設や事情により片付けの出来ないお宅の清掃等をしていただきます。



- 司会ボランティア

例えば・・・
老人福祉センター「ともえ荘」において司会進行を務めていただきます。



福祉の「め」

車いす体験を通して



当間小 6年
重 富 晴 斗

障害者と共に生きるために、自分たちができることを考えました。車いす体験のテーマをぼくは、もう一度思い浮かべました。そして、どんなことが不便なのか、車いすで体験し、障害者と共に生きる社会をめざしたいと学習シートに書いたことを思い出しました。

今日は、六月二十六日。総合的な学習の時間に、福祉体験をしています。

最初に、社会福祉協議会の鈴木さんが、車いすの種類や乗り方について、説明してく

れました。乗り方の説明のとき、ぼくは、モデルとして、車いすに乗ることになりました。自力走行するやり方をみんなにさせる役になったのです。車いすを出して、広げてすわり、走らせました。目の前にマットがしいてあり段差になっていきます。約五センチメートル位の段差なので簡単に乗りこえられると思いましたが、ところが、車いすは、マットをどうしても乗りこえられませんか。ぼくは、どうしているか、不安になりました。だから、車いすを利用している人も、このちよつとの段差で、不安や不便さを感じているのではないかと考えました。

次に、介助する体験と介助される体験をしました。介助する体験では、ぼくは、スピードを出し過ぎないように、気を付けながら、車いすを押ししました。マットのところでは、車いすをかたむけて段差を乗りこえました。でも、自分が、

介助される体験のとき、車いすがマットを乗りこえるために、急にかたむき、ぼくは、ひっくり返りそうでも不安になりました。こういうときは、声をかけることで、不安を少なくすることができると知りました。

ぼくは、車いす体験を通して、車いすを利用している人の不安や不便さを少し分かった気がしました。そして、車いすの人に出会ったら、積極的に声をかけたいです。

ぼくは、障害者と共に生きる社会をめざして、自分ができることをこれからみんなと考えていきたいと思います。

家族との絆



徳宿小 6年
水 野 結 衣

私の宝物を紹介します。私は三人姉妹で、両親と五

人で暮らしています。私は家族が大好きです。なぜかと言うと、家族といると、とても心が温かくなるからです。

お母さんは知り合いのいちご農園の手伝いをしています。私達が学校から帰ってくる時間には、必ず家に来てくれます。いつも、私達の「ただいま。」のあとに、「おかえり。」と優しい声が返ってきます。それから、どんなに仕事忙しい時期でも、毎朝、早起きをして、家のことや私達の世話をしてくれています。時々、叱られるとすごくいやな気持ちになるけど、いつも優しく見守ってくれていることを思うと、不思議と叱られているような気がしません。

お父さんは、空港関係の仕事をしていて、時々、泊まりの日があります。その時は、二時間ほどしか眠れないそうです。とても大変な仕事です。でも、どんなに疲れていても休みの日には、必ず外でボール遊びをしたり、テニスをしたりして遊んでくれます。そんな、いつも家族のためにがんばってくれているお父さん

に、とても感謝しています。お姉ちゃんも中学生です。部活動をやっているため、朝は早く、夕方遅いです。そんな忙しいお姉ちゃんも、私達二人と遊んでくれます。それだけでなく、時々、厳しく注意してくれることもあります。でも、なぜか温かく感じます。私達を正しい方に導いてくれると思うと、うれしくなります。

妹は四年生です。学校から帰ると、毎日妹と遊んでいます。二人でできる遊びは限られてしましますが、二人ドッジボールでも楽しく感じます。いやなことがあっても、妹と遊んでいるといつの間にか忘れてしまいます。

家族は、私の宝物です。みんな大好きです。



福祉体験を通して

上島西小 6年
勢子 雅菜

お年寄りの生活が、どんなに大変かを理解するために、『インスタントシニア体験』をしました。思っていたよりも、手足は重く、動くのが大変でした。音も聴こえづらく、暗い所では、小さい文字が見えにくかったです。

人は誰でも、いずれは年をとって、老人になっていきます。私はこの体験を通して老人になった時の事が少し分かると共に、お年寄りに対しての接し方が優しくできるようなったと思います。

シニア体験の後に、特別養護老人ホーム『うるるさんて大洋』を訪問しました。昔の遊びやマッサージなどにふれ合い、茶道の練習をして、お

茶をたててあげたりしながら、話を聞いたり笑顔を見たりすることができました。

紙しばいの発表では、インスタントシニア体験の経験を生かして、マイクを使ってなるべくゆつくりと話すことを心がけ、楽しんでもらうことができました。

お茶は、とてもおいしいと言っておかわりしてくださいる方もいて、私もうれしい気持ちになりました。

訪問前は、どうなるのか心配でしたが、最後まで見送ってくれる姿を見て訪問してよかったと心から思いました。

総合的な学習の時間には、福祉をテーマに栄養・調理の仕事について調べました。

人が健康に生きる上で大切な食事にかかわる仕事です。ほぼすべての福祉施設で栄養士や調理師が働いています。

私の母も、栄養士として働いていました。話を聞くと、ご飯も普通に食べられる人と食べられない人がいて、その人に合った病態別に分かれていくそうです。お年寄りには、生きるためにかかせない

『食』の問題でも、病態によっていろいろな影響が出るのだということが分かりました。

そして、福祉とは、お年寄りや子どもを支える大切な事だと改めて思うと共に、これからもっと福祉に目を向けて生活していこうと思いました。



友達への感謝

旭中 1年
田口 紀香

私が四年生の時、大縄跳びをクラスみんなでしました。始めた当初、クラスのみんなはランキングの上位を目指し頑張っていました。しかし、

くれました。

友達が私に声をかけてくれたおかげで、自分も改善することができたし、周りで同じような悩みを抱えている友達にも、私からアドバイスをし

てあげられるようになりました。友達同士で教えあえるようになってから、クラスや班の雰囲気も良くなり、記録も伸びるようになってきました。このことがきっかけで、今の私は、自分勝手なことを自分勝手なことにし、周りの人のために、何ができるかを考えた行動に心がけられるようになりました。その活動が全体のためにも自分のためにもなると教えてくれたのは、かけがえのない大切な友達でした。

そんな多くの友達に私は感謝しています。ありがとうございます。



練習が進むと、みんなそれぞれの跳び方や考え方の違いから、記録が伸び悩むと同時に、クラスや班の雰囲気までも悪くなったことがあります。そんな時、担任の先生が、「もつと周りの人のことを大切にしないさい。」という言葉をもみんなにかけました。言われた時は、何をどうするべきなのか分かりませんでした。私達はクラスで話し合い、小さなグループに分かれて、お互いが見合うようにしようと考えました。小さなグループ同士が集まり、片方が跳んでいる時は、もう片方が跳ぶ方を観察し、お互いに指摘し合うようにしました。

今まで、自分ばかりを考えていたクラスのみんなが、自分のことばかりでなく、友達のことに気を配れるようになりました。すると、グループ活動以外でも、進んで友達同士で声をかけ、一緒になって活動する姿が見られるようになりました。私にも踏み切る足の向きや場所、タイミングの合わせ方などいろいろなアドバイスをたくさん友達が



トピックス



■ ■ ■ 地域活動支援センター

「のぞみ」の野外活動報告

6月7日(金)に地域活動支援センター「のぞみ」では、年間行事の一環として国営ひたち海浜公園において野外活動を行いました。

参加者は、のぞみ通所者全員が参加し、引率者を含め総勢で22名でした。野外活動の目的は、多種多様な植物の観察、地域社会で生活する上で必要な知識と経験の会得、グループ行動の意義を図り、また、自分自身で乗り物の選択や買い物でのお金の使い方を学びました。



■ ■ ■ 幼児安全法短期講習会

7月12日(金)、ファミリーサポートセンター主催「幼児安全法短期講習会」が開催されました。当日は新規会員も含め、18名の方に参加をいただき、日本赤十字社茨城支部より2名の講師を迎え、乳幼児心肺蘇生法訓練、AEDの使い方などの講習会が行われました。

子育てを行う中で、実際に起こりうる事故等の対処法などを学ぶことができ、皆さん熱心に講習・実技にと取り組んでいました。



赤い羽根
共同募金

■ ■ ■ ボランティア養成講習会スタートしました!!

6月21日(金)、シニアピア・カウンセラーの安西健二氏を講師に迎え、受講生15名のもと、傾聴ボランティア養成講習会が開催されました。

7月5日(金)からは茨城県聴覚障害者福祉センターより手話通訳者を講師に迎え手話ボランティア養成講習会(基礎編)、13日(土)からは(入門編)を開催し合わせて16名の方が受講しています。

続いて、7月10日(水)には点字サークル「愛点子」代表の高栖美佐子氏を講師に迎え受講生5名のもと点字ボランティア養成講習会がスタートしました。

これら講習会の参加の動機について何うと、「以前から興味があった」・「少しでも人の役に立ちたいと思った」などの声が多くありました。

終講後、ボランティア登録をしていただくことで、この講習会がボランティア活動のはじめの一歩につながることを期待しています。



傾聴ボランティア養成講習会



手話ボランティア養成講習会



点字ボランティア養成講習会



赤い羽根
共同募金

このマークのついている事業は赤い羽根共同募金が活用されています。



『障がい者ふれあい事業』参加者募集

- 目 的 障がい者の社会参加を促進させるため、レクリエーションなどを通して、障がい者同士の交流やボランティアの人々とのふれあいを深め、有意義な時間を過ごしてもらうことを目的に開催します。
- 日 時 10月12日(土) 午前9時から午後1時
- 場 所 銚田市社会福祉協議会駐車場 及び 老人福祉センターともえ荘
- 参加対象者 銚田市内に在住する障がい者および介護者 ※自主参加できる方
- 申込方法 電話またはFAXにて、住所・氏名・連絡先等を添えてお申込みください。
- 内 容 餅つき&レクリエーション
- 参加費 無料
- 申込締切 9月12日(木)

● 申し込み・連絡先 ● 銚田市社協 銚田本所 ☎32-5831 旭支所 ☎37-3571 大洋支所 ☎34-5200



音訳ボランティア 大募集!! はじめてみませんか?

- 社協では、ボランティア養成講習会等を実施しますのでお気軽にお申込みください。
音による情報提供を図るため、録音図書
の知識・技術を身につけ、音訳をしていただける「音訳奉仕員」を養成します。
- 日 程 9月6日(金)～3月21日(金) 月2回 全14回
 - 時 間 午前10時～正午
 - 場 所 銚田市立図書館 2階 視聴覚室
 - 参加費 無料 ※但し、別途テキスト代800円がかかります。
 - 申込締切 8月23日(金)

● 申し込み・連絡先 ● 銚田市社協 銚田本所 ☎32-5831 旭支所 ☎37-3571 大洋支所 ☎34-5200

ファミリーサポートセンターからのお知らせ

ハッピー☆子育て講座

* 内 容

	日 程	内 容
第1回	8月2日(金)	ファーストトーク&パペットによる人形劇 講師：ロイヤルセラピスト協会 十万久美子氏
第2回	9月6日(金)	子どもの薬～飲ませ方と注意点～ 講師：土子薬局 土子明良氏
第3回	10月4日(金)	親子遠足
第4回	11月8日(金)	コーチング講座
第5回	12月13日(金)	クリスマスコンサート♪&リース作り
第6回	1月10日(金)	親子ヨガ教室
第7回	2月14日(金)	お菓子作り♪

* 申し込み・問い合わせ

主催 銚田市ファミリーサポートセンター(銚田市社協内) ☎32-5831

職員の酒気帯び運転に関するお詫びについて

本年7月、当会職員地域福祉係長兼在宅福祉係長(46歳)が酒気帯び運転により免許取り消しであったことが判明しました。

当会では、飲酒運転・酒気帯び運転の撲滅に取り組んでいる中、このような不祥事が判明したことを深くお詫び申し上げますとともに、当該職員については8月1日付けにて6か月の停職処分及び降任といたします。

改めて職員一人ひとりに対し、綱紀粛正を徹底し、会員の皆さまの信頼回復に全力を尽くしてまいります。

銚田市社会福祉協議会
会長 鬼沢保平

多くの善意を ありがとう

期間：5月11日～7月10日現在

善 意 金

福祉一般へ預託

- いばらきグリーンフェスティバル実行委員会 30,822円



銚田歌謡連合

- 銚田農産物出荷組合 5,607円
- JAアグリサービスほこた(株)ファーマーズマーケットなだろう直売部会 95,644円
- 銚田歌謡連合 18,337円
- 銚田地区民生委員児童委員協議会 3,337円
- 常陽ボランティア倶楽部 タオル700本
- 銚田北中学校 書き損じハガキ

善 意 品

- 村田 修さん ミニトマト鉢植え4鉢
- 平野美代子さん タオル33本、どんぶり10
- 埴ライス製茶工場 お茶52袋

- ◎使用済み切手・図書カード 小島 洪さん・吉田郁子さん・池嶋一二三商店・徳宿女性会・銚田北中学校・アップルホソヤ・銚田舟木郵便局・銚田地区民生委員児童委員協議会・健康増進課・総務課・産業経済課・社会福祉課保護室・社会福祉課・税務課・保険年金課・福祉事務所・市民課・第二保育所・匿名(2件)



JAアグリサービスほこた(株)ファーマーズマーケットなだろう直売部会



常陽ボランティア倶楽部



このマークのついている事業は赤い羽根共同募金が活用されています。

保育所(園)・幼稚園児の作品

あどけない子どもたちが、絵をとおして福祉の「め」を育むことも大切な事です。

市内の保育所(園)や幼稚園にご協力をいただいております。



「雨の日のおさんぽ」

雨の日は カエルやかたつむりさんと仲良しになれるから、うれしいな。でも一番は、大好きなお友達と一緒に遊べること。

雨の日 だ〜いすき！
幼稚園 だ〜いすき！

銚田市立旭幼稚園

きりん・ばんだ組(5歳児)

「みんなで一緒に花火を見よう！」

一人一人が作った小さな花火が集まって、大きな作品が出来上がりました。

「夏になったら皆で花火が見たいね。」
そんな期待や願いをこめて製作しました。

銚田市立つばさ幼稚園

さくら・ひまわり組(年長児)



季節のたより 野鳥の話

オオタカ……【タカ科】

当市には、一年中生息している留鳥であるが、数は少ない。越冬のため飛来する個体もいると思われ、冬期の方が姿を見られる機会が多い。カモやサギなどの鳥類の他、ウサギなどの哺乳類も捕食する。

本種の成鳥は、背面が灰色味の強い青色をしていることから漢字では蒼鷹オオタカと書く。一説に、近縁種のハイタカやツミと比較して一番大きいので大鷹オオタカとする説もあるが、大きさは、カラスとほぼ同大である。

オオタカ、ミサゴとも茨城県が危急種、環境省がレッドリストで準絶滅危惧に指定している。



ミサゴ……【ミサゴ科】

冬期、寒冷地帯から北浦などの水辺に飛来する魚食性の猛禽類。当市環境学習施設工コハウス付近では、上空から水中の魚類を探して飛行する姿が見られる。種名の語源は、水中の魚を探る鳥から「水探」がミサゴになったようである。

向い風を利用して空中の一点に留まって飛行し、魚を見つけると足から水中に飛び込んで捕獲する独特の狩りをする。沖縄県の普天間や岩国の米軍基地などで話題になっているオスプレイは、本種の英名であるが、このような採餌飛行から付けられたと推測できる。



川 又 利 彦



銚田市社協 ホームページのお知らせ

社協では、福祉に関する活動を市民の皆さまにより理解していただくためホームページを開設しています。ぜひ、閲覧してください。

URL <http://www.hokotashakyo.or.jp> (「銚田市社会福祉協議会」で検索できます。)